

## 第1回 村上市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 開催日時：平成27年7月28日（火） 午前9時30分から午前10時30分

2. 開催場所：村上市生涯学習推進センター 2階大・中会議室

3. 出席者：（敬称略）

【出席委員】 高橋会長、古川委員（古田常務取締役代理出席）、小田(修)委員、藤木委員（青木調査係長代理出席）、清水委員、林委員、佐藤委員、伴田委員、齋藤委員、大嶋委員、飯沼委員、佐藤委員、森山委員、岩沢委員、小田(孝)委員、土田委員、川崎委員（竹内事務局長代理出席）、田村委員（塩原係長代理出席）、白砂委員、高橋委員、佐野委員、齋藤委員、須貝委員、富樫委員（遠山主事代理出席）、遠山委員

【欠席委員】 前川委員、中村委員、碓井委員、板垣(栄)委員

【委員以外】 株式会社瀬波タクシー、坂町タクシー株式会社、藤観光タクシー株式会社、山北タクシー株式会社、株式会社はまなす観光タクシー、新潟交通観光バス株式会社村上営業所（オブザーバー）

【事務局】 佐藤、太田、國井、本間（村上市）

4. 傍聴者：0人

5. 会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶（会長）
- 3 委員及び事務局員紹介
- 4 監査員の任命について
- 5 議 事

〔報告事項〕

- (1) 村上市地域公共交通活性化協議会について
- (2) 平成26年度事業報告及び決算報告について
- (3) 運行の状況について
- (4) 保護者アンケートの結果報告について

〔協議事項〕

議題1 バス運転員ヒアリングの実施について

- 7 その他
- 8 閉 会（副会長）

6. 会議資料

【配付資料】 議事次第 出席者名簿 配席図 運行利用状況等

【議事資料】

- 資料1. 村上市地域公共交通活性化協議会について
- 資料2. 平成26年度事業報告・決算報告・会計監査報告書
- 資料3. 運行の状況について
- 資料4. 保護者アンケートの結果報告について
- 議題1. バス運転員ヒアリングの実施について

## 7. 会議経過

### 議事次第

#### 1 開 会

○佐藤事務局長：おはようございます。定刻より少し前ですが、皆さんお集まりですので、ただいまより平成27年度第1回村上市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私、自治振興課長を拝命しております佐藤勝則と申します。よろしくお願いたします。

初めに、生活交通改善事業計画並びに地域内リーダー系統関係の2つの計画につきまして委員の皆様におかれましては事前に書面にてご審議いただき、承認されました。この場をかりて御礼申し上げます。ありがとうございます。

それでは、お手元の議事次第に沿って進めさせていただきます。

最初に、本協議会会長であります村上市長よりご挨拶を申し上げます。

#### 2 挨拶(会長)

○高橋会長：皆様おはようございます。村上市長の高橋邦芳でございます。委員の皆さんにおかれましては大変ご多用の中、また道足の悪い中、本協議会にご参集を賜りまして、まことにありがとうございます。

これまで、平成22年度立ち上げましてから当地域、この広大な面積を有する村上市の中において持続可能な公共交通のあり方、また市民の皆さんの足となるべき交通機関の考え方ということでさまざまな事業に取り組みをさせていただいているわけでございますけれども、皆様方から格段のご協力、またご提言を賜りながら進めているということをもっと感謝を申し上げたいと思っております。

年度が変わりまして、現在7月であるわけでありまして、各団体におかれましては役職に交代があったということでございまして、今般12名の方が新たにご依頼申し上げましたところ、ご委嘱についてご快諾をいただいたということであります。何とぞ今後ともよろしくお願いを申し上げます。

本日の協議会におきましては、ご案内を申し上げましたとおり、平成26年度の事業報告並びに収支決算を初めとする4項目ご提案を申し上げておるところでございます。また、その後、路線バスの運転員へのヒアリング調査の実施についてもあわせてご協議を申し上げるということで予定をしておりますので、よろしくお願いをいたします。資料のほうにつきましても事前に送付をさせていただいたということでございまして、委員の皆様におかれましてはそれぞれのお立場からそれぞれの観点、これにつきましてご意見、ご提案をいただきますようお願いを申し上げたいと思います。何とぞ本日の協議会、よろしくお願いをいたします。開会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○国井係長：ありがとうございました。

ここで、本日資料を配付させていただきましたものについてご確認願います。皆様のお席に議事次第、本日の出席者名簿、配席表、運行状況、利用状況等をお配りさせていただいております。なお、配付資料につきましては事前に皆様に送付させていただいております。そちらをごらんください。また、本年度新たに委員となられた皆様にはあわせて委嘱状がございますので、ご確

認ください。配付資料等に不備がありましたら挙手にて事務局までお申しつけください。

### 3 委員及び事務局員紹介

### 4 監査委員の任命について

### 5 議事

○国 井 係 長：ここで本日の協議会についてご報告申し上げます。ご案内させていただきました委員数29名のうち、本日の出席委員は24名です。出席委員数が過半数を超えておりますので、協議会規約第11条第2項により、本日の協議会は成立します。

これより先は議事に移りますけれども、協議会規約第11条の規定により、会長が議長を務めることとされておりますので、以降、会長より議事の進行をお願いいたします。

#### 〔報告事項〕

##### (1) 村上市地域公共交通活性化協議会について(資料1)

○高 橋 会 長：それでは、私のほうで議長を務めさせていただきますので、委員の皆様には何とぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、報告事項の(1)について事務局より報告を願います。

○事 務 局： - - - 資料1に基づき詳細に説明 - - -

○高 橋 会 長：ただいまの事務局説明につきまして、委員の皆様から何かご質問等ございましたらお受けをしたいと思っておりますが、いかがでございましょうか。よろしいですか。特にないようでございまして、ただいまの説明で報告終わらせていただきます。

##### (2) 平成26年度事業報告及び決算報告について(資料2)

○高 橋 会 長：続きまして、報告事項(2)について事務局から説明願います。

○事 務 局： - - - 資料2に基づき詳細に説明 - - -

○委 員：監査委員の齊藤でございます。それでは、監査報告を申し上げます。平成26年度会計監査報告書。村上市地域公共交通活性化協議会規約第10条の規定により、平成26年度村上市地域公共交通活性化協議会会計を監査した結果、歳入及び歳出に関する帳簿並びに証拠書類等はいずれも適正に処理されていることをご報告をいたします。平成27年5月20日。監査委員、齊藤茂、監査委員、須貝慎一郎。以上でございます。

○高 橋 会 長：ありがとうございます。ただいまの事務局の説明並びに齊藤監査委員のほうから監査の結果についての報告があったわけでございますけれども、委員の皆様方からご質問等ございましたらお受けをいたしたいと思っております。よろしゅうございましょうか。それでは、ただいまの報告をもちましてご承認をいただいたということでお願いをいたします。

##### (3) 運行の状況について(資料3)

○高 橋 会 長：それでは、続きまして、報告事項の(3)について事務局から説明をお願いをいたします。

○事 務 局： - - - 資料3に基づき詳細に説明 - - -

○高 橋 会 長：ありがとうございます。運行の状況について資料3でご説明を申し上げます。委員の皆様方からご質疑等ございましたらお受けをいたしたいと思っております。

○佐野副会長：資料3の2番目の循環・巡回バス一日乗り放題券の利用者数ということで平成27年5月には非常に4倍くらいふえているのですが、6月にはかなり減っているのですけれども、この辺の理由がわかれば教えてください。

○高橋会長：事務局、お願いします。

○事務局：この一日乗り放題券の利用者数なのですけれども、5月は観光客の方の利用が多かったと想定されます。それに対しまして6月なのですけれども、6月につきましては本年度については正直言って詳しい分析がされておられません。といいますのは、平成26年度におきましてはかなり乗り放題券を始めて間もない時期だったということで、それなりの安定的な売り上げがあった可能性があるのですが、6月になると、それがぱたっととまってしまったというのは、ちょっと私どもも分析し切れていないというのが正直なところです。目新しさがあったのか、もしくは観光客について、この辺については6月が非常に落ち込む時期なのかなというふうには考えているのですけれども、申しわけございません。詳しい分析はされていない状況でございます。

○高橋会長：はい。

○佐野副会長：それに引き続いて、3ページの路線バスの利用状況ということで、新しくいただいたのも含めて比べてみて、人キロが平成26年が伸びているのは学割ということでわかったのですけれども、22年度は25年まで人キロは伸びているのですけれども、6万8,000というのは乗車人員ですよ。減っていますよね。これは、どういうことなのでしょう。長距離ではふえたということも余りないと思うのですが。

○高橋会長：事務局、どうぞ。

○事務局：これは、前に配付した資料ですが、こちらのほうにつきましては、単純に実車走行キロ×1人平均乗車キロを掛けたグラフになっています。差し替えさせていただいた新しい資料は実際キロ当たりの運賃収入が数円上がったという状況です。これにつきましては、学割の効果で近距離の乗車が非常に高くなったということでございます。ですので、前の資料と今回の資料というのは全く別物であります。今回は事務局で検討した結果、どのくらいの利用者の伸びがあるのかを見るのに有効な資料に差し替えさせていただきました。

○高橋会長：先生、いかがでございましょうか。

○佐野副会長：いいですけれども。

○高橋会長：長距離利用が極端にふえたということはないのではないかなということで先生はおっしゃられたのですけれども、その辺の理由というのはありますか。

○事務局：済みません。極端に伸びているわけではないです。申しわけないのですけれども、ちょっと差し替え前の資料の表現の仕方が単純に掛け算をしてしまった関係でグラフがこういうふう伸びてしまったというような形ですので、差し替えさせていただきました。

○委員：はい、わかりました。

○高橋会長：では、次、委員、お願いできますか。

○委員：山北なのですけれども、勝木営業所の利用率が非常に悪いというふうな数字になっておりますが、実は私も今年から孫の送り迎えでうちから駅まで送っていくのですけれども、非常に各家庭の送り迎えの車が多いという、これに

についてはバス運賃が高いとか、それとも時間帯の設定が悪いとか、その辺が利用率の低下の原因としてはあるのではないかというふうに思います。以上です。

○高橋会長：事務局、これについての意見ありますか。

○事務局：ご指摘の部分なのですが、後ほど4番の保護者アンケートの結果報告のところで申し上げるつもりでございました。正直申しまして、親御さんにつきましては時間の拘束の負担が大きいというふうな分析結果が出ております。また、それに比して自家用車での児童生徒の通学支援をなぜ行うかということに関しましては、やはりお子さんの安全とか、あとお子さんの時間も融通させたいといったことをちょっと優先させているのかなという結果が、分析として出ております。この辺につきましては、後で申し上げますが、回収率がかなり低かったものですから、また継続して調査を行って分析したいと思っております。

○高橋会長：委員、よろしゅうございますか。

○委員：はい。

○高橋会長：ほかにございませんでしょうか。それでは、運行状況につきましては以上のとおり報告をさせていただきたいと思っております。

#### (4) 保護者アンケートの結果報告について(資料4)

○高橋会長：続きまして、報告事項の(4)、保護者アンケートの結果報告について、資料ナンバー4でご報告をお願いいたします。

○事務局：---資料4に基づき詳細に説明---

○高橋会長：ありがとうございます。保護者アンケートの結果についてご報告を申し上げたわけでありましたが、ある程度傾向が出ているような形で結果が集計をされたというふうに捉えているわけでございますけれども、委員の皆様方からこの件についてご質問等ございましたらお受けしたいと思っております。

○佐野副会長：学割バスが認知されているのはよくわかるかと思うんですが。あと、2ページ目の問い3についてですが、送迎を自家用車を選んだ方の理由が公共交通は不便な面があるためのと、不便であるから、子供の負担が大きいというが、同じ側面というか、公共交通のプラス要素が低いという側面で、これ合わせると、半数ぐらいになるので、なかなか難しいケースですけれども、ニーズに合ったものをすれば乗る可能性はあるのではないかと感じました。

○高橋会長：ありがとうございます。いずれにしましても回収率、少し上げながら、機会を捉えて、もう少しきめ細かい形で検証をすると、さらにその傾向がしっかりと見えてくるのかなと思っておりますので、そのように取り組みを進めさせていただきたいと思っております。

皆様方から特にご意見等ございませんでしょうか。ないようでございますので、それでは報告事項につきましては以上のとおりとさせていただきます。

#### 〔協議事項〕

##### 議題1 バス運転員ヒアリングの実施について

○高橋会長：続きまして、協議事項、議題の1でございますが、バス運転員ヒアリングの実施について事務局から内容について説明をお願いいたします。

○事務局：---議題1に基づき詳細に説明---

○高橋会長：ありがとうございます。改めて、バス運転員の皆様方から直接ヒアリング

の形式でご意見をお聞きするという形をとらせていただきまして、精度を上げていきたいということでのご提案を申し上げたわけでございますけれども、委員の皆様からこの件につきましてご意見等ございましたらお願いをいたします。いかがでございましょうか。特にご意見、ご質問等ないようでございますので、ぜひこれにつきましては私どものほうで聞き取りをさせていただきたいと思っておりますので、この形でもよろしくをお願いをいたしたいと思っております。

それでは、議題といたしましてご承認をいただきましたので、この件については今ほどご提案申し上げました8月上旬から9月下旬にかけて実施をさせていただきたいというふうに考えておりますので、よろしくをお願いをいたします。

## 7 その他

○高橋会長：それでは、続きまして、次第の7、その他についてでございますけれども、この際、委員の皆様から何かございましたらご発言をお願いいたします。では、副会長、よろしくをお願いいたします。

○佐野副会長：きょう配っていただいた村上市公共交通運行利用状況等という数字ばかりのデータがあると思うのですけれども、それで気がついたんですが、乗り合いタクシー、荒川、神林地区の利用率というのは利用者割る予約数という、大体90%が。ということは、予約して利用されない方が10%ぐらいいるということだと思うのですけれども、そのキャンセルの方法というのはどういうふうになっているのでしょうか。

○高橋会長：事務局、お願いします。

○事務局：大部分が電話でキャンセルを、今日は行かないというふうなことで前日、もしくは当日の運行時間前に連絡を受け取ります。あとは、失念して乗らない方というふうなものも若干名いますけれども、大部分はご自身で電話でキャンセルしています。

○佐野副会長：その場合、費用というのは発生するのですか、キャンセルした場合は。その費用といたしますか、運行に関してですけれども。

○高橋会長：事務局、お願いします。

○事務局：利用者、ご本人につきましてはキャンセル料は発生しません。ですが、キャンセルの場合運行費用は発生しております。

○佐野副会長：そのキャンセルについては、いつでも発生するわけですか。

○事務局：運行をして、迎えに行っていなかったという場合は運行の経費が発生いたしますけれども、それは乗り合いですので、ここに複数乗っている方もいらっしゃると思います。なので、その方々が乗らなくなるからといって運行しない、取りやめるといったことはありません。

○高橋会長：その他ございますか。

○委員：今山北では、徳洲会病院があります。ここでは1地域、朝夕2回、バスが送り迎えかわかりませんが運行しております。これをもう少し村上市も、うまく打ち合わせして、時間帯や運行行程そういうものを遺漏なく利用すれば、うまく活用できるのではないかなというふうに考えますけれども、ぜひその辺のところをいま一度検討していただきたいというふうに思います。結構大きなバスですけれども、見たところ、ほとんどの山北地区を網羅しています

ので、それ活用することによって通院弱者、そういうものは解消するのではないかなというふうに思いますので、さらに検討をお願いします。以上です。

○高橋会長：事務局、その辺のところというのは情報収集及び再度そのあたりイメージありますか。

○事務局：ご意見ありがとうございます。利用と申しますか、運行につきましては私どものほうでも把握はしております。ですが、実利用者のことについて詳しくは調査はしておりません。一企業の医療法人の方が運行しているバスですので、公共交通と合致した形での施策展開というのは難しいのですが、一つの地域の手段として、それを含めて公共交通とリンクさせて住民の利便性が高まるのであれば、それに向けた鋭意調査をした上で路線及び時刻の変更等についてしていきたいと考えております。

○高橋会長：委員、よろしゅうございますでしょうか。

○委員：はい。

○高橋会長：ありがとうございます。

ほかにご発言ございませんでしょうか。なければ、委員のご発言、ないようでございますので、事務局から特にございますか。

○事務局：1点お願いと申しますか、お知らせと申しますか、事務局のほうからさせていただきます。乗り合いタクシーにつきまして、まだまだ住民の方におきましては利用に関して、なかなかタクシーの利用というのは敷居が高いというふうにイメージされている方が多うございまして、先般も直接ご相談いただきました。私どものほうとしましては、高齢者を対象にしております地域の茶の間などにご要望があればご説明に上がりますので、お近くのそういった会合等ございましたら、私どもにお声がけ、もしくは地域の茶の間を担当しています各地域福祉室並びに介護高齢者等の職員の方に連絡いただければ訪問させていただいて、紹介させていただきますので、この辺のところよろしくお願ひしたいと思ひます。

○高橋会長：事務局からのお願いでございます。機会を捉えて、多くPR、また広報していくことがこの事業の発展にもつながると思ひますので、何とぞ皆様方、よろしくお願ひをいたしたいと思ひます。

それでは、その他、これで閉めさせていただきたいと思ひますけれども、議事進行はここまでとさせていただきたいと思ひます。円滑な議事の運営、進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。これで議長の任をおろさせていただきます。ありがとうございます。

○佐藤事務局長：委員の皆様、ご審議、大変ありがとうございました。最後に、本協議会の副会長であります長岡技術科学大学院教授、佐野様より閉会のご挨拶をお願いいたします。

## 8 閉会（副会長）

○佐野副会長：委員の皆様、きょうは朝早くからご参集いただき、どうもありがとうございました。公共交通をいろいろなところで見させていただいてはいますが、右肩上がりというのはなかなかない中で、本協議会では巡回・循環バスも右肩上がりをし、学割というのが非常にと申しますか、旅客数がふえて、かつ補助金を上げているという、日本的に見ても、全国的にもなかなか珍しい、すばらしい策を実施していると思ひます。これ以外にも地域の皆様のニーズ

に合わせることによって効率的な輸送を行うことにより、皆さん利便性が高くなるような公共交通を目指していけると思われます。以上です。

○佐藤事務局長：ありがとうございました。以上をもちまして平成27年度第1回村上地域公共交通活性化協議会を閉会させていただきます。大変どうもありがとうございました。

（午前10：30終了）